

静岡県  
初開催

ニッポンが誇る伝統芸能の美

# 東海道歌舞伎衣裳展

令和元年8月3日(土)～9月23日(月・祝)



「藤娘」  
藤の花精



しらなみごにんおとこ  
「白浪五人男」  
日本駄右衛門

©松竹衣裳株



ことぶきそがのたいめん  
「寿曾我対面」  
曾我五郎

駿河・遠江編



「寿曾我対面」H25.6 歌舞伎座 ©松竹株

藤枝市郷土博物館・文学館

静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内) 藤枝市郷土博物館・文学館 検索  
TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514 muse@city.fujieda.shizuoka.jp

【休館日】月曜日(8/12, 9/16, 9/23は開館)、8/13火・9/17火 【開館時間】午前9時～午後5時 【入館料】大人400円(団体20名以上320円)、中学生以下無料、障害者手帳等をご提示の方は無料

【協力】松竹衣裳株 日本人形文化研究所 【後援】静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社 静岡朝日テレビ 静岡第一テレビ テレビ静岡

# 静岡県ゆかりの歌舞伎8作品の衣裳が勢揃い!

江戸時代初めに歌舞伎が誕生してから400年以上の歳月が経ち、今や歌舞伎は日本が世界に誇る伝統芸能となっています。

静岡県は江戸時代、東海道が東西180キロにわたり横断し、22の宿場があったことから、豊かな歴史と文化が根付き、さまざまな歌舞伎の舞台として描かれました。県東部の伊豆から富士山麓が舞台となった曾我兄弟の仇討ちは、歌舞伎最大のレパートリー「曾我物」へと発展しました。県西部の遠江では、金谷宿出身の大盗賊・日本左衛門をモデルにした河竹黙阿弥作の「白浪五人男」が、歌舞伎の「白浪物」(盗賊物)として大ヒットし、粋な着物を着た五人組の盗賊が勢揃いする名場面を生み出しました。

藤枝市が位置する県中部の志太地域に目を転じると、河竹黙阿弥の最高傑作と評される「鳶紅葉宇都谷峠」(通称、文弥殺し)や、不世出の怪談作者・鶴屋南北作の「独道中五十三驛」において、因果がからみ合う宇津ノ谷峠が主要な舞台となりました。また、江戸時代の純愛物語「生写朝顔話」(通称、朝顔日記)では、島田宿と大井川の川越しが最後のクライマックスシーンとなっています。

静岡県初の本格的な歌舞伎衣裳展となる本展では、県内や志太地域ゆかりの歌舞伎8作品を取り上げ、豪華絢爛かつ個性的な歌舞伎衣裳を展示します。歌舞伎の美を視覚的に演出する衣裳の色彩・デザイン・染め・刺繍などを間近にご覧いただき、歌舞伎のストーリーを味わいながら、歌舞伎の伝統美や魅力を感じていただければ幸いです。なお、歌舞伎イラストレーター・辻和子さんのイラスト入りの解説で、歌舞伎作品の見どころを分かりやすく紹介します。併せて、歌舞伎役者の顔や上半身を描いた、精緻な押絵羽子板や迫力ある郷土風(駿河風など)も展示します。



すけろくゆかりのえどざくら  
「助六由縁江戸桜」  
花川戸助六



「助六由縁江戸桜」  
助六(11代目市川海老蔵)  
H22.5 新橋演舞場 ©松竹樓



「助六由縁江戸桜」  
三浦屋揚巻



いちのたにふたばくんき くまがいじんや  
「一谷嫩軍記(熊谷陣屋)」  
熊谷直実

## 伝統芸能イベント

【オープニング】

田沼魁太鼓・「朋郎」による和太鼓演奏

8月3日(土)・4日(日) 午前11時～11時30分

【出演】 3日(土)…田沼魁太鼓育成会の皆さん  
4日(日)…和太鼓と篠笛の二人組「朋郎」

【会場】 3日(土)…博物館前広場、4日(日)…館内ホール

【参加】 3日(土)…無料、4日(日)=入館者対象(大人は入館料が必要)

※両日とも、博物館前広場でキッチンカーによるコーヒー・軽食類の販売が行われます。



【夕べの講談】怪談「宇都ノ谷峠」

河竹黙阿弥が幕末に書いた歌舞伎・世話物の最高傑作「鳶紅葉宇都谷峠」をもとに、田辺一邑が書き下ろした迫真の創作講談を当館で8年ぶりに再演します。

8月10日(土) 午後6時～7時

【出演】 田辺一邑(浜松市出身の講談師)

【会場】 博物館エントランスホール(定員80名)

【参加】 大人500円・中学生以下200円(当日、展示観覧もできます)

【申込み】 7/27(土)より電話・FAX・メールで郷土博物館へ



古典舞踊のしらべ

歌舞伎の原点は舞踊中心のレビューショーでした。歌舞伎と密接に関わる優雅な古典舞踊をお楽しみください。

8月11日(日) 午前11時～正午、午後2時～3時

【出演】 宗家藤間流 藤間勘市華一門

【演目】 長唄 藤娘・外記猿・七福神 ほか

【会場】 博物館エントランスホール(定員80名)

【参加】 入館者対象(大人は入館料が必要) ※申込不要



【志太ゆかりの伝統芸能公演】山梨県無形民俗文化財

笹子追分人形芝居「朝顔日記」

甲州街道の難所「笹子峠」の麓・笹子村に江戸時代から伝来し、300年以上の歴史をもつ笹子追分人形芝居が、静岡県内で初めて上演されます。島田宿と大井川川越しを舞台にした江戸の純愛物語「朝顔日記」のクライマックスシーンをご堪能ください。

9月8日(日) 午後2時～3時30分

【出演】 笹子追分人形保存会の皆さん(山梨県大月市)

【演目】 「生写朝顔話」宿屋の段・大井川の段、「三番叟」

【主催】 藤枝市郷土博物館・静岡県博物館協会

【会場】 郷土博物館前広場(雨天時は館内ホール) ※見学無料・申込不要



薩摩琵琶による平家物語演奏

薩摩藩の武士によって400年以上受け継がれた薩摩琵琶の力強い演奏で、『平家物語』の名場面「小敦盛」をお楽しみください。

9月22日(日) 午後2時～3時30分

【出演】 松浦鶴雲さん(薩摩琵琶奏者・静岡県琵琶協会会長)

【会場】 文学館講座学習室

【参加】 入館者対象(大人は入館料が必要) ※申込不要



## 歌舞伎講演会

【会場】 文学館講座学習室(定員…各回80名)

【参加】 入館者対象(大人は入館料が必要、中学生以下無料)  
受講のみの場合、大人300円

【申込み】 7/27(土)より電話・FAX・メールで郷土博物館へ

【ギャラリートーク】

【申込不要】

ここがみどころ! 歌舞伎衣裳

華やかな衣裳のつくり・特色・意味について解説します。

8月10日(土) 午前11時～、午後2時～(各回45分程度)

【講師】 松竹衣裳(株) 演劇課スタッフ 【会場】 博物館特別展示室

【歌舞伎講演会】

知らざあ見せて聞かせやしよう  
～目からウロコの歌舞伎のツボ～

親しみやすいイラストで歌舞伎の魅力伝えてくれる講師が、分かりやすい解釈で歌舞伎を小粋に読み解きます。

8月25日(日) 午後2時～3時30分

【講師】 辻和子さん(イラストレーター・『歌舞伎の解剖図鑑』著者)



【映画講演会】

映画スターが演じた歌舞伎十八番、  
そして若き日の歌舞伎役者

8月31日(土) 午後2時～3時30分

【講師】 小澤正人さん(静岡市在住の映画講師)

【主な映画】 市川雷蔵「弁天小僧」、  
美空ひばり「ひばりの三役 競艶雪之丞変化」、  
若き日の中村吉右衛門・中村勘九郎の映像 など



【歌舞伎講演会】

鳶紅葉宇都谷峠

～名優市川小團次と河竹黙阿弥が生んだ傑作～

伊豆河津出身の4代目市川小團次は、努力を重ね歌舞伎名優となりました。河竹黙阿弥との名コンビで生まれた不朽の名作を解説します。

9月14日(土) 午後2時～3時30分

【講師】 藤浪俊夫さん(静岡市在住の歌舞伎研究者)